

香取市地域公共交通網形成計画策定支援業務における業務概要

1 業務実施方針

①行動パターンや生活圏を考慮した市民ニーズの詳細分析

- ・香取市は、佐原駅周辺や小見川駅周辺に多様な機能が集積し、豊かな自然環境や歴史的資源の分布、郊外部には農村集落地等が散在するなど、地域により公共交通サービスの現状や人口集積度、高齢化率、土地利用などが異なっています。
- ・これからの地域公共交通網の検討に当たっては、これら地域特性を考慮しつつ、過年度アンケート調査やニーズ調査等を通して、**地区別に行動パターンや生活圏などの生活目線（利用者）で、人の動きや目的地等を詳細に分析**し、地域公共交通の再編検討に活用致します。

②佐原駅及び小見川駅周辺を核に、広域性や接続強化を考慮した公共交通ネットワークの再構築

- ・香取市では、佐原駅駅前広場（南口）や小見川駅駅前広場（北口）といったハード整備が完了し、さらに佐原駅北口及び小見川駅周辺を核とした都市間公共交通ネットワークの強化に向けた取組みが進められています。
- ・**公共交通の利便性向上による満足度の向上に繋がるよう、都市間や拠点間連絡の強化や、複数の交通モード連携（高速バスと路線バス・循環バス、路線バス同士、路線バスと循環バス等）に配慮した上で、香取市の魅力あるまちづくりの手段となる公共交通ネットワークの再構築を検討**します。

■将来都市構造図（第2次総合計画）



【第2次香取市総合計画での公共交通の取り組み方針】

- 市内公共交通の利便性向上
- 交通弱者への対応
- 高速バスを基幹とした都市間公共交通の利便性向上
- 鉄道の利便性の向上

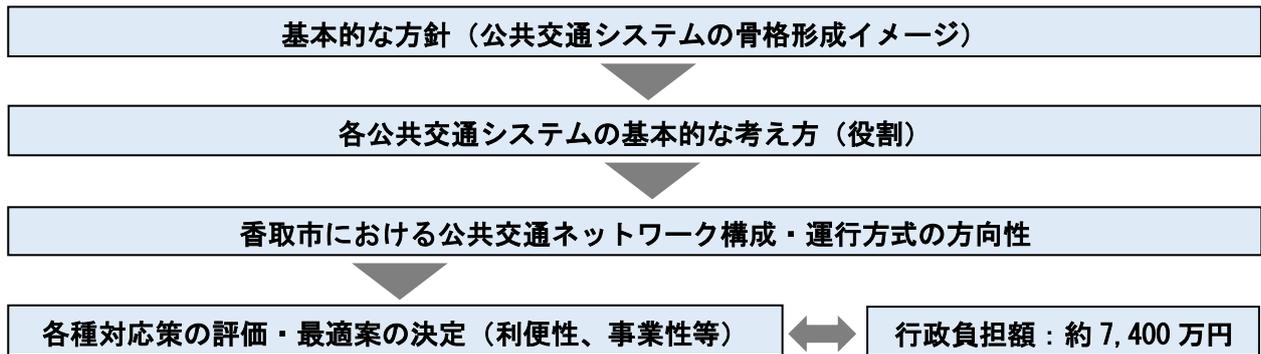
【地域公共交通の基本的な方針（案）】

- ①高速バス（鉄道）を基幹とした広域アクセスや拠点間連携（域内）に配慮した利便性の高い公共交通ネットワークの構築を目指す
- ②公共交通機関が相互に連携した「使いやすい」「分かりやすい」公共交通サービスを目指す
- ③「地域が支え、育てる」持続可能な公共交通の確立を目指す

③コミュニティバス等の利便性向上と効率化による再編検討（交通不便地域の解消含む）

- ・香取市では平成31年4月より福祉タクシー利用券（市全域、高齢者等、通院限定）のサービスを開始しており、既存の公共交通サービスと対象者や領域面などで競合する可能性があります。
- ・このため、路線バス・コミュニティバス等の再編検討に当たっては、**公共交通サービスと福祉サービスとのすみ分け・調整**、さらには**小中学校の再編・統合によるスクールバスとの役割分担を図りつつ、地域間格差の是正や交通不便地域の解消に資するよう、利用者の利便性向上と、効率化の両輪により、再編を検討**します。

■公共交通サービス運行計画（案）の検討方法



④多様な事業・主体との連携・協働による具体的な利用促進策の提案

- ・香取市は少子高齢化の進展による人口減少や中心市街地の空き家・空き店舗の増加などが課題となっている中で、持続可能な公共交通網を形成するためには、日本遺産「北総四都市江戸紀行」など魅力的な観光資源等まちづくりと一体的に取り組むことが重要です。
- ・このため、市や交通事業者だけでなく、道の駅、観光協会や商工会など関係団体・企業など多様な事業・主体との連携・協働により、市民意識の醸成を図るためのモビリティマネジメント施策の展開や、地域公共交通の利便性・快適性の向上と、中心市街地の活性化、観光振興などに寄与する具体的な取組みを提案します。

【利用促進策例】

《ハード》

- 乗継拠点等の機能強化、バスターミナルの整備検討

《ソフト》

- 公共交通総合マップの作成・配布
- 高齢者割引サービス（免許自主返納特典等）
- バス利用参加型イベントの実施
- 路線バス乗り方教室の開催
- マイ時刻表制作サービスの導入
- モビリティマネジメント啓発活動
- 商店街・観光施設等との連携サービスの導入 など

⑤まちづくりとの連携による導入・維持・見直しのルール・基準の設定

- ・本計画の達成状況等を評価するための目標指標は、地域公共交通の視点だけでなくまちづくりと連携し、市民への分かり易さやデータ入手のし易さ等を考慮した上で、定量的な目標値を検討するとともに、PDCAサイクルによる評価・検証の考え方を検討します。また、地域との協働や適切な負担を視野に入れながら、導入・維持・見直しのためのガイドラインを検討します。

■網形成計画の目標指標の設定方法

【連携計画での目標】

- 公共交通網の維持及び活性化の推進
- 市内公共交通体系の公平性の確保
- 「住民生活圏」を考慮した市内公共交通体系の構築
- 効率的な運行計画への改善
- 「魅力ある市内（広域）観光ルートづくり」の推進

【第2次香取市総合計画（公共交通関連）】

指標名	現状値 2017	目標値		
		2018	2020	2022
市内公共交通に関する市民満足度	- 24.6%	- 20%	- 15%	- 10%
公共交通利用者数	57,147人	58,000人	59,000人	60,000人
公共交通に対する利用者1人当たりコスト	757円	741円	728円	726円

【目標指標（案）】

- 公共交通分野：利用者数、利用者満足度、公共交通カバー率、負担金額、サービス認知度（MM）
- 公共交通分野外（観光振興等）：公共交通利用の観光客数、商店への公共交通利用来訪者数等

2 策定スケジュール

- 平成 31 年 9 月（利用者アンケート調査等は夏休み前に実施）までに、基礎調査・分析や公共交通利用者ニーズ等の分析、運行事業者ヒアリング、問題点・課題を整理します。
- 平成 32 年 2 月頃からパブリックコメントを実施できるよう、1 月末までに網形成計画（案）を作成し、3 月末に成果品を納品いたします。

		項目	会議等	
平成31年	5月	○基礎調査・分析に関する業務		
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性の把握 ・公共交通の現状 ・上位・関連計画の整理 	○公共交通利用者ニーズ等分析 ①利用者アンケート調査（循環バス3路線、乗合タクシー登録者、路線バス2路線） ②主要施設利用者アンケート調査（病院、店舗5箇所） ③中高生ワークショップ（2箇所×1回） ④住民意見交換会（3箇所（北佐原、小見川、福田）×1回）	第1回協議会 ・第1回庁内会議
	7月		※調査実施（予定）	
	8月	○運行事業者ヒアリング ↓		
	9月	○地域公共交通の問題点及び課題の整理		第2回庁内会議
	10月	○計画策定等全体に関する業務 ・計画策定等の基本方針の作成 ・基本方針を具体化する為のアクションプラン作成 （運行事業者との個別協議・調整） ○先進事例等の収集		第2回協議会
	11月		○地域公共交通網形成計画（案）及び概要版（案）の作成	第3回庁内会議
	12月			
平成32年	1月		第3回協議会 ・庁内会議	
	2月		パブリックコメント	
	3月	○網形成計画及び概要版の作成	第4回協議会	
		成果品（印刷製本、納品）		